

海の声

天草市立御所浦小学校
学校便り
令和7年9月19日号
文責：金子和弘



学校HPも随時更新します。学校で行っている教育活動や授業の様子を紹介をしています。是非、ご覧ください。

2学期が始まって…

2学期が始まり、早くも20日が過ぎようとしています。天候に左右される場面もありましたが、児童は安全に、落ち着いた学校生活を送ることができます。

さて、始業式では、2学期に頑張ってほしいことについて話をしました。1学期には「あいさつ」と「話を聞くこと」をお願いしましたが、各学年ともに聞く姿勢が向上し、全校集会では、ほとんどの児童がしっかりと話を聞くことができています。みんなでよい雰囲気をつくり出してくれていることを、とても嬉しく思います。

2学期は、さらにステップアップを目指します。新たな目標は「考えを伝えること」です。自分の考えを相手にしっかりと伝えることは、コミュニケーションの第一歩です。相手の話をよく聞き、自分の思いを丁寧に伝える力を育んでほしいと願っています。そのためにも、授業の中でたくさん「伝える練習」をしてほしいと思います。

うまく伝えられないこともあるでしょう。時には落ち込むこともあるかもしれません。しかし、それこそが豊かな心を育てるための大切な経験です。学校でたくさんの経験を積み、それを次のステップにつなげていってほしいと願っています。間違いや失敗は、挑戦するからこそ生まれるものです。一人ひとりが自分らしく表現できるよう、これからも支援してまいります。

8月の豪雨災害から

8月10日から11日にかけての豪雨災害は、天草各所に大きな被害をもたらしました。幸い御所浦地区での被害は少なかったようです。特に松島地区の被害が大きく、校舎の浸水、がけ崩れ、など、学校への影響もひどかったです。今もなお、ボランティアが足りていないとの情報もあり、元の生活に戻られるまでには、相当の時間を要するようです。

夏休みの最終週、松島の小学校を車で通ると、先生方が運動場に流れ込んだ土砂を一輪車で運ばれている様子を見ました。各箇所でこのよう状況が進行していたのかと思うと胸が打たれます。各ご家庭でも豪雨被害についての会話を交わされたことだと思います。もしもの場合の家族の約束ごと、確認をよろしくお願ひします。

※先日の休校措置では、判断に苦慮しましたが、児童の身の安全を第一に判断させていただきました。

各ご家庭での対応ありがとうございました。

教職をめざす学生来校

9月9日（火）、東京の明星大学の学生の皆さんのが、本校の教育について学ぶために来校されました。8名の学生の皆さんには、授業を受ける児童や授業を行う教員の様子を熱心に参観されました。2日間の来校を通して、御所浦の魅力を感じていただけたことを、私たちも大変嬉しく思います。以下に、学生の皆さんからいただいた感想の一部をご紹介します。

～来校後の感想～

- ・学年によって雰囲気の違いはあるものの、子どもたちはとても元気で明るく、活発な印象を受けました。児童同士が仲良く遊んでいる様子はもちろん、児童と先生、地域の方々との関わりも深く、コミュニティ全体のつながりの強さを実感しました。
- ・地域の方々とそれだった際、顔見知りではない私たちにも笑顔で挨拶してくださり、御所浦の皆さんの温かさを感じました。お食事会でいただいた魚は格別の美味しさで、ぜひまた訪れたいと思いました。

※教職希望のやる気のある学生を前に、私たちも元気をもらいました。